

薬物について相談できる窓口があります。

北海道	北海道厚生局麻薬取締部	☎011-726-1000	近畿厚生局麻薬取締部神戸分室	☎078-391-0487
	北海道医務薬務課	☎011-204-5265	福井県医薬食品・衛生課	☎0776-20-0347
	北海道立精神保健福祉センター	☎011-864-7121	福井県総合福祉相談所	☎0776-24-7311
	札幌こころのセンター	☎011-622-0556	滋賀県薬務感染症対策課	☎077-528-3634
東北	東北厚生局麻薬取締部	☎022-227-5700	滋賀県立精神保健福祉センター	☎077-567-5010
	青森県医療薬務課	☎017-734-9289	京都府薬務課	☎075-414-4790
	青森県立精神保健福祉センター	☎017-787-3951	京都府精神保健福祉総合センター	☎075-641-1810
	岩手県健康国保課	☎019-629-5467	京都市こころの健康増進センター	☎075-314-0355
	岩手県精神保健福祉センター	☎019-629-9617	大阪府薬務課	☎06-6941-9078
	宮城県薬務課	☎022-211-2653	大阪府こころの健康総合センター	☎06-6691-2811
	宮城県精神保健福祉センター	☎0229-23-0021	大阪市こころの健康センター	☎06-6922-8520
	仙台市精神保健福祉総合センター	☎022-265-2191	堺市こころの健康センター	☎072-245-9192
	秋田県医務薬事課	☎018-860-1407	兵庫県薬務課	☎078-362-3270
	秋田県精神保健福祉センター	☎018-831-3946	兵庫県精神保健福祉センター	☎078-252-4980
	山形県健康福祉企画課	☎023-630-2333	神戸市こころの健康センター	☎078-371-1900
	山形県精神保健福祉センター	☎023-624-1217	奈良県薬務課	☎0742-27-8664
	福島県薬務課	☎024-521-7233	奈良県精神保健福祉センター	☎0744-47-2251
	福島県精神保健福祉センター	☎024-535-3556	和歌山県薬務課	☎073-441-2663
関東信越	関東信越厚生局麻薬取締部	☎03-3512-8690	和歌山県精神保健福祉センター	☎073-435-5194
	関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室	☎045-201-0770	中国四国厚生局麻薬取締部	☎082-228-8974
	茨城県薬務課	☎029-301-3388	鳥取県医療・保険課	☎0857-26-7203
	茨城県精神保健福祉センター	☎029-243-2870	鳥取県立精神保健福祉センター	☎0857-21-3031
	栃木県薬務課	☎028-623-3119	島根県薬事衛生課	☎0852-22-5259
	栃木県精神保健福祉センター	☎028-673-8785	島根県立心と体の相談センター	☎0852-21-2885
	群馬県薬務課	☎027-226-2665	岡山県医薬安全課	☎086-226-7341
	群馬県こころの健康センター	☎027-263-1166	岡山県精神保健福祉センター	☎086-201-0828
	埼玉県薬務課	☎048-830-3633	岡山市こころの健康センター	☎086-803-1273
	埼玉県立精神保健福祉センター	☎048-723-3333	広島県薬務課	☎082-513-3221
	さいたま市こころの健康センター	☎048-762-8548	広島県立総合精神保健福祉センター	☎082-884-1051
	千葉県薬務課	☎043-223-2620	広島市精神保健福祉センター	☎082-245-7746
	千葉県精神保健福祉センター	☎043-263-3891	山口県薬務課	☎083-933-3018
	千葉市こころの健康センター	☎043-204-1582	山口県精神保健福祉センター	☎083-902-2672
	東京都薬務課	☎03-5320-4505	四国厚生局麻薬取締部	☎087-823-8800
	東京都立中部総合精神保健福祉センター	☎03-3302-7575	徳島県薬務課	☎088-621-2233
	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	☎042-376-1111	徳島県精神保健福祉センター	☎088-625-0610
	東京都立精神保健福祉センター	☎03-3844-2210	香川県薬務感染症対策課	☎087-832-3301
	神奈川県薬務課	☎045-210-4972	香川県精神保健福祉センター	☎087-804-5565
	神奈川県精神保健福祉センター	☎045-821-8822	愛媛県薬務衛生課	☎089-912-2393
	横浜市こころの健康相談センター	☎045-671-4455	愛媛県心と体の健康センター	☎089-911-3880
	川崎市精神保健福祉センター	☎044-200-3195	高知県医事薬務課	☎088-823-9682
	相模原市精神保健福祉センター	☎042-769-9818	高知県立精神保健福祉センター	☎088-821-4966
	新潟県医務薬事課	☎025-280-5187	九州厚生局麻薬取締部	☎092-431-0999
	新潟県精神保健福祉センター	☎025-280-0111	九州厚生局麻薬取締部小倉分室	☎093-591-3561
	新潟市こころの健康センター	☎025-232-5560	福岡県薬務課	☎092-643-3287
	山梨県衛生薬務課	☎055-223-1491	福岡県精神保健福祉センター	☎092-582-7500
	山梨県立精神保健福祉センター	☎055-254-8644	福岡市精神保健福祉センター	☎092-737-8825
	長野県薬事管理課	☎026-235-7159	北九州市立精神保健福祉センター	☎093-522-8729
	長野県精神保健福祉センター	☎026-227-1810	佐賀県薬務課	☎0952-25-7082
東海北陸	東海北陸厚生局麻薬取締部	☎052-961-7000	佐賀県精神保健福祉センター	☎0952-73-5060
	富山県くすり政策課	☎076-444-3234	長崎県薬務行政室	☎095-895-2469
	富山県心の健康センター	☎076-428-1511	長崎子ども・女性・障害者支援センター	☎095-846-5115
	石川県薬事衛生課	☎076-225-1442	熊本県薬務衛生課	☎096-333-2242
	石川県こころの健康センター	☎076-238-5761	熊本県精神保健福祉センター	☎096-386-1166
	岐阜県薬務水道課	☎058-272-8285	熊本市こころの健康センター	☎096-362-8100
	岐阜県精神保健福祉センター	☎058-231-9724	大分県薬務室	☎097-506-2650
	静岡県薬務課	☎054-221-2413	大分県こころからの相談支援センター	☎097-541-5276
	静岡県精神保健福祉センター	☎054-286-9245	宮崎県医務薬務課薬務対策室	☎0985-26-7060
	静岡市こころの健康センター	☎054-262-3011	宮崎県精神保健福祉センター	☎0985-27-5663
	浜松市精神保健福祉センター	☎053-457-2709	鹿児島県薬務課	☎099-286-2804
	愛知県医薬安全課	☎052-954-6305	鹿児島県精神保健福祉センター	☎099-218-4755
	愛知県精神保健福祉センター	☎052-962-5377	九州厚生局沖縄麻薬取締支所	☎098-854-0999
	名古屋市精神保健福祉センター	☎052-483-2095	沖縄県衛生薬務課	☎098-866-2055
	三重県薬務感染症対策課	☎059-224-2330	沖縄県立総合精神保健福祉センター	☎098-888-1443
	三重県こころの健康センター	☎059-223-5241		
近畿	近畿厚生局麻薬取締部	☎06-6949-3779		

●全国各保健所  
●各都道府県警察署

保護者のみなさまへ

# 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

～子供たちを薬物乱用から守るために。～

子供の薬物乱用を未然に防ぐための

## チェックポイント

子供の言動に変化がありませんか？

- 帰宅が遅くなるが多くなった。
- 理由の分からないお金を欲しがようになった。
- 食事を家族と一緒に食べなくなった。
- 目を合わせて会話をしなくなった。

子供を取り巻く環境に目配りを！

- 子供にスマートフォンやタブレットを持たせている。
- 子供にインターネットにいつでも接続できるパソコンを使わせている。
- 子供が中学生・高校生と遊ぶことがある。もしくは、友達関係がよく分からない。

1つでも☑があれば**注意が必要です！**



子供のまわりには

**危険**がいっぱい！

子供たちの身近にあるスマートフォンやパソコンを使って、インターネットから危険な薬物が簡単に入手できてしまいます。周囲に誘われて薬物を使うケースも多いので、十分注意して見守ることが必要です。





# 要注意! 薬物乱用の低年齢化が進んでいます

## いま、大麻の乱用が拡大中!

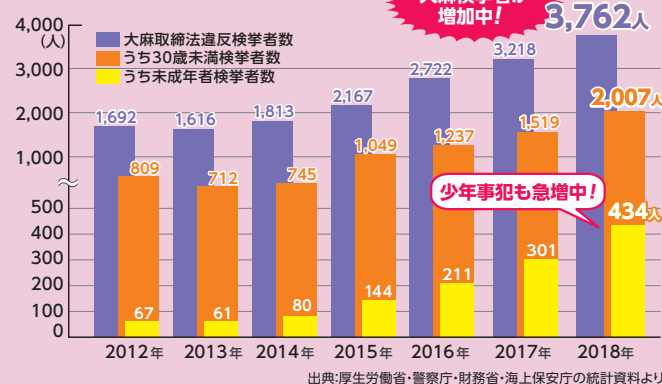
日本は、国際的に見て薬物乱用の少ない国だと言われていますが、それでも何らかの薬物を使用した経験のある人数は200万人を超えているという調査結果もあります。(2017年の「薬物使用に関する全国住民調査」より)

2018年には、大麻事犯の検挙者数が3,762人と過去最高となり、そのうち約半数の2,007人が未成年や20歳代の青少年でした。

インターネット等において「大麻には害がない」といった誤った情報もあって青少年の大麻の乱用の拡大につながっていると推測されます。



■ 大麻取締法違反検挙人員の推移



■ 初めて大麻を使用した動機(対象者535人・複数回答)

区分	初回使用時年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	全体
好奇心・興味本位		66.3%	59.2%	43.5%	42.9%	54.9%
その場の雰囲気		18.6%	12.4%	8.7%	7.1%	13.4%
クラブ・音楽イベント等の高揚感		4.9%	8.9%	4.3%	0.0%	6.1%
パーティー感覚		2.7%	2.8%	1.4%	0.0%	2.4%
ストレス発散・現実逃避		2.3%	5.0%	20.3%	42.9%	5.9%
多幸感・陶酔効果を求めて		3.4%	6.4%	14.5%	7.1%	5.9%
その他		1.9%	5.3%	7.2%	0.0%	11.4%

出典:警察庁「平成29年における組織犯罪の情勢」より

## 新しいタイプの大麻加工品が出現!

大麻から幻覚成分を抽出・濃縮した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」の摘発が増加しています。



## 大麻成分入り食品にも要注意!

海外旅行でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディーなどの中に、大麻が含まれていることがあります。知らずに持ち込んで検挙されたり、誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分注意が必要です。



## 大麻は子供の成長に計り知れない悪影響を及ぼします!

大麻の花や葉に含まれるTHC(テトラヒドロカンナビノール)が、様々な障害を引き起こします。

大麻の乱用による影響		大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響	
<b>知覚の変化</b> 時間や空間の感覚がゆがむ	<b>情緒の不安定</b> イライラしたり不安になる	<b>思考の変化</b> 集中力がなくなる	<b>大麻精神病</b> 幻覚・妄想などの症状が現れる	<b>判断力の低下</b> 物事を考えられなくなる	<b>無動機症候群</b> 何もやる気がしなくなる

## 薬物は子供の脳にダメージを与えます。

脳は人間の心と身体をコントロールしているとても大切な器官です。乱用された薬物は脳の知的機能や記憶をつかさどる部位(海馬など)に影響を与えます。

特に発達段階にある青少年の脳は、成人に比べ外的要因の影響を受けやすいため、薬物の乱用によって脳や神経の正常な発達や成熟が阻害され、障害を引き起こすこともあります。



## 大麻のほかに乱用される薬物

覚醒剤	コカイン	危険ドラッグ
<p>日本で最も検挙者が多い薬物。神経に作用して異常な興奮状態をもたらし、精神依存も強いので非常に危険です。</p>	<p>神経を興奮させる作用があり、幻覚等の症状や大量摂取すると呼吸困難で死に至ることもあります。</p>	<p>麻薬などに類似した有害で危険な物質を含んでおり、呼吸困難や異常行動を起こしたり、死に至ることもあります。</p>

**医薬品**は  
用法・用量を守らないと危険です!

医師に処方された薬や市販薬であっても、定められた服用をしなければ危険です。用法・用量を守らず誤った服用をしたために薬物依存になったり、医薬品の譲渡や、海外で販売されている薬の服用で副作用を伴う恐れがあります。

### 「薬物乱用の危険」から子供たちを守るために大切なこと・心がけること

薬物を乱用するとどうなるのか、その「危険性」を子供に十分理解させ、たとえ友人からの誘いでもはっきり「断る」ことができる勇気と心を育ててください。

また、子供たちのちょっとした変化も見逃さず、日頃の言動や友人関係に気を配り、注意深く見守ることが大切です。

悪い誘いを寄せ付けない、誘われても断れる自信をつけさせましょう!

危険な場所には近づかない、近づかせない! 危険を感じたら、すぐ逃げるように言い聞かせましょう!

子供が自分自身を大切に、周囲の人や物も大切に思う心を育みましょう!